

●スカイバスによる観光まちづくり

2004年9月10日に日本で最初の2階建てオープンバス『スカイバス東京』の運行が丸の内三菱ビル前を発着場としてスタートしました。日本初のエンタテインメントバスでもあり、乗客数は順調に伸びました。大手町・丸の内・有楽町地区の街づくりの進展と共に、平日のみ人の行き交う街から休日にも人々が回遊する街へと変貌を遂げました。

このようにスカイバスの毎日運行により、来外者が増え街に勢いがでてきたことを踏まえ、地方都市活性化のきっかけづくりと考え2006年夏、手始めに札幌市で『スカイバス札幌』の運行をはじめました。JTB北海道、地元バス会社そして弊社との間で【スカイバス札幌まちづくり実行委員会】を設立し、北海道、札幌市、商工会議所、コンベンションセンター、ホテルなど関係者に協力していただき約3か月間運行しました。その後同じスキームで『スカイバス沖縄』『スカイバス京都』『スカイバス仙台』と全国各地で運行を開始し、2009年は新たにスカイバス長野（善光寺周辺4/4～5/31）、スカイバスしまなみ海道・松山（4/23～6/21）を運行します。

スカイバスの魅力の一つにアテンダントの案内がありますが、関係者がそれぞれお互いに忌憚のない意見を出し合っってシナリオをつくり検証します。スカイバス運行終了後も地元関係者のコミュニケーションネットワークも少しずつ広がり、次回スカイバス運行への提案などを契機に手作りの地域活性化への道を歩みだしています。

文責者：松本 豊（日の丸自動車興業(株) 取締役 事業開発部部长
新交通システム研究室室長）
紹介者：坂井雅子（第二計画部）

●自主防災組織の訓練

ちょうど一月前の3月15日の10時きっかり、いつもと同じ日曜の朝を迎えようとしていた路地のまち十条において、この長閑な雰囲気をかき消す大音響のサイレンが響き渡りました。

大音響の正体は、消防車の出動サイレンであり、それは上十条1丁目において古井戸をいかした自主防災組織の防災訓練を実施する合図でした。主催は、自主防災組織である上十条西町会（沖田光泰会長）、王子消防署、王子消防団第五分団、そして北区であり、これに地元住民が参加し総勢80名ほどになりました。

古井戸をいかした貯水方法は二つあり、一つは、Aという古井戸から手押しで水を汲み、バケツリレーで組立・分解が簡単な折りたたみタイプのA' という消防用水槽に水を貯める方法。もう一つは、Bという古井戸に直接ポンプ車の揚水ホースを接続し、B' という消防用水槽に放水して貯める方法（Bという古井戸には揚水ホースを接続できる吸水口が別途ある）。

そしてA' とB' それぞれの消防用水槽から、合計7台のポンプ車で揚水し一斉放水しました。内訳は消防署4、消防団2、町会1であり、放水パワーは写真の通り歴然の差がありました。

（写真→ <http://www.almec.co.jp/info/news2.html>）

北区には、井戸の個人所有者に対する募集制度として「災害時協力井戸」というのがありますが、全体の43%が十条に点在しています。十条の路地の狭さと入り組み具合はリヤカーくらいの大きさのホースカーも進入が困難なほどです。消防車が動きにくい十条の井戸は、地域の消防力を高める上で極めて重要な存在となっています。

高尾利文（第二計画部）

●「レール&高速バスライド」サービス本格実施のお知らせ

本年4月1日より、茨城方面の高速バスからつくばエクスプレス（TX）に乗り換えて東京方面に移動できる「レール&高速バスライド」サービスが本格的に始まりました。乗り継ぎ地点は、TX八潮駅から徒歩6分程度にある首都高速八潮パーキングエリア（埼玉県八潮市）です。

高速バス車内で首都高速の渋滞情報をアナウンスし、TXに乗り継ぐか、そのま

ま高速バスで行くかを選択することができます。乗り継ぐ際は、TX八潮駅から秋葉原駅間の乗車券を100円で購入できます（通常TX八潮駅から秋葉原駅まで450円）。

昨年6月から今年3月までの実証実験期間中は、1日平均100人弱、最も多い日で450人以上がこのサービスを利用しており、高速バスの利用者数は実験前に比べて約3%増加しています。

なお、バスと電車の連携により乗り継ぎ運賃を割り引いて乗客を誘導する事例は初めてとされています。対象ルートは、水戸や日立など茨城県内から東京方面に向かう6ルートです。茨城から東京方面へ移動する際は、ぜひ「レール&高速バスライド」をご利用されてみてはいかがでしょうか。

○実験に関する詳細は、下記ホームページでご覧になれます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/jidou_koutu/tab1/jikken/yasiopa.html

大野 学（第一計画部）

発行責任者：代表取締役 庄山 高司
事務局：株式会社アルメック 業務部
東京都目黒区青葉台 1-19-14
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210
Eメール hotnews@almec.co.jp
ホームページ <http://www.almec.co.jp/>

Copyright 2009 ALMEC Corporation. All rights reserved.